

9 球磨村 苦楽を共に五十年

祝 熊日金婚夫婦表彰

7月の豪雨災害のため、延期されていた熊日金婚夫婦表彰式が、10月20日球磨村の一勝地「かわせみ温泉」にて行われた。

表彰式は主催者・熊日新聞社の本田清悟事業局長が、9組の金婚夫婦へ表彰状と記念品を贈呈し祝辞を述べた。式には松谷浩一村長、門崎博幸副村長、森佳寛教育長が参列し祝辞を述べ、村からも記念品が贈られた。

被表彰者を代表して大坂間茂さん(81)・シゲ子さん(74)が「これ

からも健康で夫婦仲良く過ごし、地域にも貢献していきたいです」とお礼の言葉を述べた。閉式後には記念撮影が行われ、役場より後日各夫婦へ送られる。

「熊日金婚夫婦表彰」は、現皇太后・妃(平成天皇皇后両陛下)のご成婚を記念して1959年(昭和34年)に熊日新聞社の主催事業。結婚50年を迎えた県内の夫婦を祝い、県内45市町村を巡回して表彰している。



復旧復興に向けて

村づくり懇談会

令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興を目指す懇談会が10月17日から26日まで、村内7会場と旧多良木高校で開催され延べ491人が参加した。最終日の26日には球磨村総合運動公園さくらドームで開かれ、地域住民73人が参加した。懇談会は松谷浩一球磨村長あいさつの後、令和2年7月の豪雨災害の概要、アンケート調査結果、球磨村復興方針の概要について高永幸夫ふるさと創生課長が説明。そのあと意見交換が行われた。松谷村長は「復興に向けて皆様方の想いやご意見ご要望をお聞きし皆様と共に歩んでいきたい」とあいさつした。

意見交換では「宅地造成、嵩上げ協議の経過は・路線バスの経路変更は・賃貸マンションの検討は・仮設の中での自治会組織は・農機具の購入、農地の土砂撤去工事について・復旧復興にスピード感をもって」等ほか多くの意見要望が出された。悲痛な思いを言葉で詰まらせながら述べる住民も。12月に二回目の懇談会を開く予定。これらを基に来年3月までには復興計画策定を提示する。



意見や要望を述べる地域住民

球磨弁! パート28 わかるかな?

- ・うんにゃ // いや違う
- ・せん? // ...しない?
- ・うてあわん // 相手にしない
- ・びっかん // カエル(蛙)
- ・かみゃー // 格好
- ・あっと? // 居る?
- ・はってく // 行ってしまおう
- ・しょむ // 沁(し)みる
- ・ほうわなか // 覚えがない



編集後記

おかげさまで、小紙「おがわ瓦版」も今号で5年目に入りました。また、この度「球磨村広報」特派員の委嘱を受けました。コロナ禍、重ねて7月の豪雨災害で大きな被害を受けた球磨村の復興の様子や住民の笑顔、元気を村内外へ発信していきたいと思えます。「瓦版」と被らない様に笑顔と元気を求めてさるきます。改めまして、共に

よろしくお願致します。

※たね // 歩く



前号の脳力アップクイズ答え

- 1) こたつ → つぼめ → めんこ → こども → もん 2) ①海千山千
 ②千変万化 ③千差万別 3) ①トーク(遠く) 番組 ②4ドル(読んどの) ③副操縦士(服装重視)